NY マーケットレポート（2016 年 8 月 26 日）

NY 市場では、イエレン FRB 議長のジャクソンホールでの講演を控えて様子見ムードが強まっており、序盤は小動きの展開が続いた。そして、講演でイエレン FRB 議長は、労働市場の改善などに伴い、過去数ヵ月間で利上げへの論拠が強まったとの認識を示したことを受けて、米国の利上げが意識され、ドル円・クロス円は堅調な動きとなった。しかし、具体的な利上げ時期に関して言及しなかったことから、早期の利上げ実施に懐疑的な見方も広がり、一時下落する場面もあった。しかし、年内の利上げ期待が強まったことや、フィッシャーFRB 副議長がインタビューで、9 月の利上げは可能との認識を示したことから、利上げへの期待感が強まり、再びドルが主要通貨に対して上昇する動きとなった。そして、米国債券利回りが大きく上昇し、日米の金利差拡大が意識されたことから、ドル買い・円売りが優勢となり、クロス円も堅調な動きが続いた。

2016年 8月26日（金）

NEW YORK	NY終値	NY高値	NY安値
USD/JPY	101.78	101.95	100.08
EUR/JPY	113.97	114.13	113.16
GBP/JPY	133.70	133.89	132.42
AUD/JPY	76.98	77.20	76.64
NZD/JPY	73.61	74.03	73.47
EUR/USD	1.1199	1.1341	1.1181
AUD/USD	0.7565	0.7692	0.7551

米主要株価	終値	前日比
米ダウ平均	18395.40	-53.01
S&P500	2169.04	-3.43
NASDAQ	5218.92	+6.71
日経225（CME）	16590	+85
トロント総合	14639.88	+9.16
ボルサ指数	47369.57	-364.63
ボベスパ指数	57716.25	-5.89

8/29 経済指標スケジュール
10:00 【豪州】7月HIA新築住宅販売
16:00 【トルコ】8月経済信頼感
16:30 【スウェーデン】7月貿易収支
16:30 【スウェーデン】7月小売売上高
17:30 【香港】7月小売売上高
21:30 【米国】7月個人所得
21:30 【米国】7月個人支出
21:30 【米国】7月PCEデフレーター
22:00 【メキシコ】7月失業率
23:30 【米国】8月ダラス連銀製造業活動指数

コモディティー	終値	前日比
NY GOLD	1325.90	+1.30
NY 原油	47.64	+0.31
CMEコーン	325.00	-7.00
CBOT 大豆	967.25	-8.25

米国債利回り	本　日	前　日
2年債	0.84%	0.79%
3年債	0.95%	0.89%
5年債	1.23%	1.16%
7年債	1.49%	1.42%
10年債	1.62%	1.58%
30年債	2.29%	2.27%

8/29 主要会議・講演・その他予定
・英国市場休場

出所：SBILM

NY 市場レポート

≪　要人発言　≫
ブラード・セントルイス連銀総裁

・「FOMC の正常化計画、再考する時期にある」
・「生産性の低い現況に適した政策が望ましい」
・「後の引き下げ視野に利上げするのは良くない」
・「マイナス金利、米国での可能性は低い」

SBI Liquidity Market

出所：Net Dania

≪ 経済指標の結果 ≫

2Q GDP（前期比年率） 1.1%（予想 1.1%・前回 1.2%）

2Q 個人消費（前期比） 4.4%（予想 4.2%・前回 4.2%）

指標結果データ
≪米 GDP≫

	2Q 改定	2Q 速報	1Q	4Q	3Q	2Q
ＧＤＰ	1.1	1.2	0.8	0.9	2.0	2.6
個人消費	4.4	4.2	1.6	2.3	3.0	3.6
耐久消費財	9.9	8.4	-0.6	4.0	6.2	7.6
非耐久消費財	5.7	6.0	2.1	1.2	3.2	2.7
サービス	3.1	3.0	1.9	2.3	2.0	2.2
住宅投資	-7.7	-6.1	7.8	10.1	8.2	9.3
輸出	1.2	1.4	-0.7	-2.7	-2.8	2.9
輸入	0.3	-0.4	-0.6	0.7	1.1	2.9
政府支出	-1.5	-0.9	1.6	1.0	1.9	3.2

4-6 月期の米 GDP 改定値は、年率換算で前期比+1.1%となり、速報値から 0.1 ポイント下方修正された。個人消費は勢いを増したものの、電力・ガス分野などで企業の在庫投資が軟調だったほか、輸入がプラスとなったことも影響した。

①個人消費は+4.4%と速報値から 0.2 ポイントの上方修正、輸出は+1.2%と 0.2 ポイント下方修正、輸入は+0.3%に上方修正された。

②企業の設備投資は-0.9%とマイナス幅が縮小、住宅投資は-7.7%へ下方修正された。

③政府支出は-1.5%へ下方修正され、州・地方政府が-2.2%、連邦政府も-0.3%だった。

④物価安定の目安となる個人消費支出（PCE）物価指数は、前年同期比+1.0%と、目標の 2.0%を引き続き下回った。また、コア PCE 物価指数は、前年同期比+1.6%となった。

≪　要人発言　≫
メスター・クリーブランド連銀総裁

・「金利を引き上げ始めるのは理にかなう」

≪ 経済指標の結果 ≫

7月メキシコ貿易収支　-18.27億USD（予想　-13.42億USD・前回　-5.24億USD）

≪　要人発言　≫
ロックハート・アトランタ連銀総裁

・「今年2回の利上げは想定可能」
・「1度の利上げあり得る、経済が軌道維持すれば」

出所：Net Dania

≪ 経済指標の結果 ≫

8月ミシガン大学消費者信頼感指数　89.8（予想　90.8・前回　90.4）

経済指標データ
≪ミシガン大学消費者信頼感指数≫

	8月確報	8月速報	7月	6月	5月	4月	3月
消費者信頼感	89.8	90.4	90.0	93.5	94.7	89.0	91.0
景気現況指数	107.0	106.1	109.0	110.8	109.9	106.7	105.6
消費者期待指数	78.7	80.3	77.8	82.4	84.9	77.6	81.5
1年インフレ	2.5	2.5	2.7	2.6	2.4	2.7	2.7
5年インフレ	2.5	2.6	2.6	2.6	2.5	2.5	2.7

8月のミシガン大学消費者信頼感指数の確報値は89.8となり、8月の速報値から0.6ポイント低下し、市場予想の90.6を下回った。前月比では0.2ポイント低下し、4ヵ月ぶりの低水準となった。現状指数は107.0で8月速報値から0.9ポイント上昇したが、前月から

2.0 ポイント低下した。また、先行き指数は 78.7 と 8 月速報値から 1.6 ポイント低下し、前月から 0.9 ポイント上昇した。1 年後のインフレ期待は 2.5%で 8 月速報値から横ばい、前月から 0.2 ポイント低下した。

≪　要人発言　≫
イエレン FRB 議長

・「実質自然利子率は 0 に近いとの推計もある」
・「雇用と物価の目標達成に近づいている」
・「米利上げの論拠は、この数カ月で強まった」
・「財政政策は、経済の安定を強化できる」
・「緩やかな利上げは適切になると今も考える」
・「FOMC は、追加手段を積極的に検討していない」
・「様々な状況に対応する政策手段が望ましい」
・「将来、幅広い資産の購入を検討する価値あり」

出所：Net Dania

出所：Net Dania

イエレン議長は、ジャクソンホールで講演し「ここ数ヵ月で追加利上げの根拠が増した」と述べ、利上げに意欲を示した。時期に関する具体的な言及は避けたことから、一旦下落する動きとなったが、早ければ 9 月にも利上げに踏み切るとの観測を背景に、再び堅調な動きとなった。

≪　要人発言　≫
フィッシャーFRB 副議長

・「8 月雇用統計は、FOMC の決定に影響へ」
・「景気が力強さを増したことは証明済み」
・「現時点で資産バブルをさほど心配せず」

≪欧州のポイント≫
ECB が公表した統計によると、7 月のユーロ圏の企業向け融資は、前年同月比+1.9%で、6 月の+1.7%から加速し、5 年ぶりの高い伸びとなった。家計向けの融資は 6 月と同じ+1.8%となった。英国の EU 離脱決定後も、ユーロ圏で緩やかな景気の回復が続いていることが浮き彫りとなった。ユーロ圏のマネーサプライ M3 の伸び率は、前年比 4.8%となり、6 月の 5%から低下した。

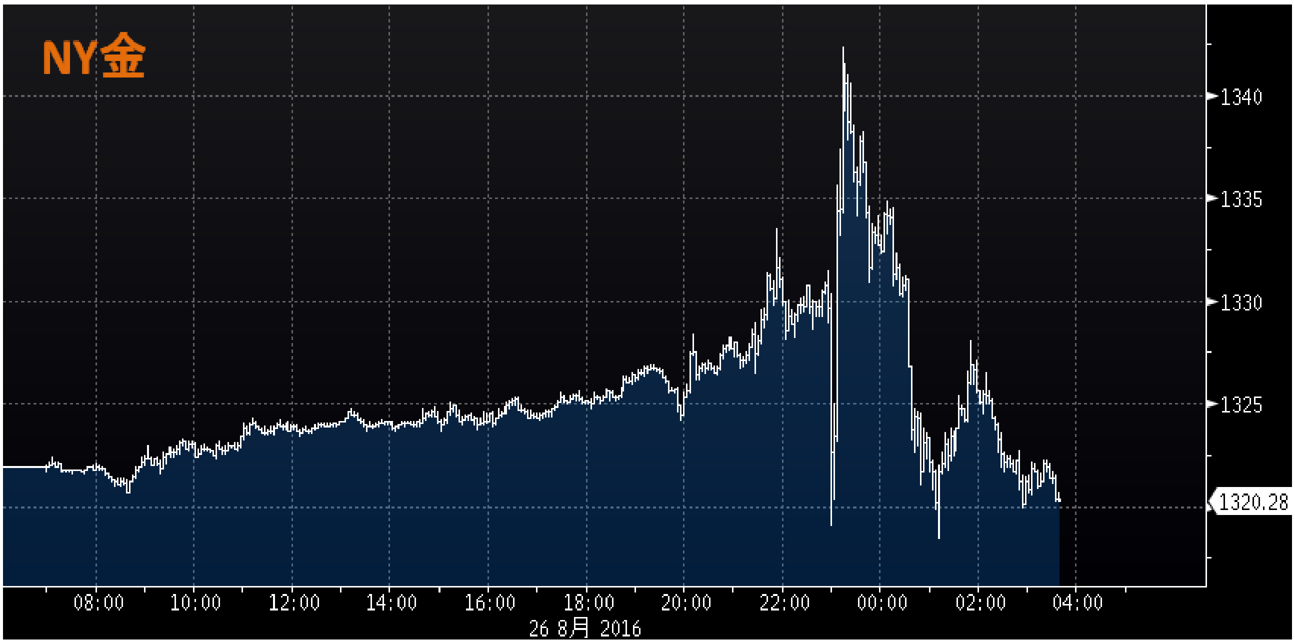
≪海外の話題≫
南アフリカ中銀のミネル副総裁は、インフレ率は高止まりし通貨ランドの大幅な変動が物価に影響していると指摘し、中銀の利上げサイクルは終了していないとの見解を示した。中銀のウェブサイトに掲載された講演原稿によると、同副総裁は「最近のインフレ見通しの改善は明るい動きだが、政策におけるリスクはなお非常に多く、利上げサイクルが終わったと宣言することはできない」と指摘した。

≪　要人発言　≫
パウエル FRB 理事

・「緩やかな利上げプログラムが適切」
・「辛抱強い姿勢でいる余裕はある」
・「ドルは今の懸念事項ではないが注視はするべき」

≪ NY 金市場 ≫

NY 金は、イエレン FRB 議長が講演で利上げに意欲を示す一方、具体的な利上げ時期に言及せず、政策決定は経済指標次第と述べたことから売り買いが交錯し、方向感を欠く展開となった。



出所：Bloomberg

≪ NY 原油市場 ≫

NY 原油は、米石油サービス大手が発表した米国内の石油掘削装置の稼働数が前週から横ばいだったことが材料視され、買いが優勢となった。ただ、イエレン FRB 議長が講演で利上げに意欲を示したことを受けて、ドルが主要通貨に対して上昇し、ドル建ての原油に割高感が出て売られる場面もあった。

出所：Bloomberg

≪米株式市場≫

米株式市場は、このところ売りが続いていたことから値頃感の出た銘柄を中心に買い戻す動きが先行した。その後、イエレン FRB 議長が講演で追加利上げに意欲的な姿勢を示したことで売りが優勢となった。NY ダウ平均株価は、序盤は前日比 123 ドル高まで上昇したものの、その後は下落に転じ、113 ドル安まで下落するなど、軟調な動きが続いた。一方、ナスダックは終盤にプラス圏まで戻して引けた。

出所：Bloomberg

≪外国為替市場≫

外国為替市場は、イエレン FRB 議長が追加利上げに意欲的な姿勢を示したことからドルが上昇となったが、早期の利上げ実施には懐疑的な見方もあり、下落する場面もあった。ただ、年内の利上げの可能性は高まったとの見方が広がり、ドルは主要通貨に対して大きく上昇となった。また、米債券利回りが大きく上昇したことで、日米金利差拡大観測からドル買い・円売りとなったことで、クロス円も堅調な動きとなった。

出所：Bloomberg

出所：総合分析チャート

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社
お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、 複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。 また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。
本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。